### テフルトリン粒剤

# フォース粒剤

**取扱メーカー**: シンジェンタ, 日農

**原体メーカー**: シンジェンタ

成分: テフルトリン〔ピレスロイド系〕 ·························.0.50% その他 PRTR 該当成分:

性状:褐色細粒

ポリ (オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル [PRTR・1 種]  $\cdots$ 5.5%

毒性:劇物 消防法:——

### 【品目特性】 .....

- ●ガス効果と接触効果で、ダイコンのキスジノミ ハムシを収穫期まで防除する。
- ●は種時又は植付け時の土壌処理で、ネダニ類、 クロバネキノコバエ類、コガネムシ類、ネキリム シ類等、幅広い害虫を防除する。
- ●土壌処理タイプの合成ピレスロイド剤。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

〈だいこんのキスジノミハムシ, タネバエ〉

●地表面から2~3cm(通常のは種溝の深さ程度) の深さに溝を切り、所定量処理する。そして、覆土した後、は種する。

〈いちご、かんしょ、らっかせいのコガネムシ類〉

- ●いちごやらっかせいの全面処理では、土壌表面に薬剤を均一に散布し、ロータリーなどで15~20cmの深さに混和した後、植付(は種)を行う。
- ●かんしょの作条処理では、植付場所に15~20 cm程度の幅で帯状に薬剤を均一に散布し、薬剤の上に土を覆せるように畝立てする。
- ●かんしょの全面処理では、土壌表面に薬剤を均一に散布し、ロータリーなどで20~30cmの深さに混和しながら畝立てする。
- ●らっかせいの播溝処理では、深さ5~15cmの 播溝に薬剤を処理し覆土した後、は種を行う。

#### 〈キャベツ、はくさいのネキリムシ類〉

●ネキリムシ類の行動範囲である地表面から4~5cmの深さの間に均一に混和する。

#### 〈さとうきびのハリガネムシ類〉

●植付時に、植溝に沿って混和処理する。

### 【薬効・薬害等の注意】 …………

- タネバエについては、有機質の多用などにより 発生密度が高くなると効果が劣る場合がある。
- ●うめに使用する場合は、収穫前にあらかじめ ネット等をはり、果実が処理土壌と直接接触しな いようにする。
- ●だいこんの生育期に株元散布する場合は、茎葉部が濡れていると付着した粒剤により局所的な枯れが生じることがあるため注意する。
- ●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項 を参照。

### 

- ●つまみ菜、間引き菜には使用しない。
- ●医薬用外劇物のため、取扱いには十分注意する。
- ●のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、カユミを生じる場合があるので注意する。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に 注章
- ●甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので,使用 時は注意。
- ●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- ●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。
- ●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を 参照。
- ●施設内で使用する場合は、側窓、天窓を開け、 十分換気を行う。







## 

作物名	適用害虫名	10a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	テフルトリンを含む 農薬の総使用回数
う め	アカマダラケシキスイ	10kg	収穫3日前 まで		全面土壌混和	
かんしょ	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類	9kg	植付前		全面土壌混和 又は 作条土壌混和	
らっかせい	コガネムシ類幼虫	ong.	は種時		播溝土壌混和 又は 全面土壌混和	
キャベツはくさい ブロッコリー 茎ブロッコリー 非結球レタス	ネキリムシ類	4kg	定植時	1回		1回
チャート レタス ほうれんそう	ネキリムシ類 ホウレンソウケナガコナダニ	9kg	は種前		全面土壌混和	
はつかだいこん	4.700777777	6∼9kg	は種時			2回以内
	キスジノミハムシ	$4\sim9$ kg			播溝土壌混和	(は種時まで
だいこん		6kg	収穫14日 前まで	1回	株元散布	の処理は1回 以内, は種後
かぶ	タネバエ キスジノミハムシ		は種時		播溝土壌混和	は1回以内)
非結球あぶら な 科 葉 菜 類	ネキリムシ類 ・ キスジノミハムシ	4kg	はは田川			
小倉はくさい菜 な ば な 類	キスジノミハムシ		は種前 は種時		全面土壌混和	
にんじん	クロバネキノコバエ類	12kg 4~12kg	は種前			
)		41	は種時		作条土壌混和	
にんじん(葉) ご ぼ う	ネキリムシ類	4kg	は種前 は種時		全面土壌混和	1回
ね ぎ	ネダニ類 クロバネキノコバエ類	4∼9kg 9kg	定植時	1回	作条土壌混和	
			は種時		播溝土壌混和	
パセリ	ネキリムシ類	4kg	定植時		植溝土壌混和 又は 全面土壌混和	
ザーサイ	ネキリムシ類 キスジノミハムシ		は種時		全面土壌混和	
しょうが	ネキリムシ類	6∼9kg	萌芽期	]	株元散布	
いちご	コガネムシ類幼虫	Glra	植付時 (仮植床)		全面土壌混和	2回以内 (仮植床は1
V. 6 C	ネキリムシ類	- 6kg	定植時		作条土壌混和	回以内,本圃 は1回以内)

作物名	適用害虫名	10a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	テフルトリンを含む 農薬の総使用回数
やまのいも	タネバエ	4kg				
	ネキリムシ類	6kg				
やまのいも (むかご)	タネバエ	4kg	植付時		植溝土壌混和	
さとうきび	ハリガネムシ類	6kg				
みしまさいこ	ネキリムシ類		萌芽期		株元散布	
茶	ナガチャコガネ	9kg	成虫飛来初 期からふ化 幼虫期 但し, 摘採7日前 まで	1回	雨落ち部 土壌混和	1回
つつじ類	コガネムシ類幼虫		植付時		全面土壌混和	